

令和5年度 障がい者スポーツ推進プロジェクト

特別支援学校等における運動部
部活動の地域連携・地域移行支援事業

大分県
令和6年3月

始めに

本県は、1961年に全国に先駆けて「大分県身体障害者体育大会」を開催、1981年に国年国際障害者年を記念して「大分国際車いすマラソン」を開催するなど、国内の障がい者スポーツ発祥の地として、我が国の障がい者スポーツを牽引してきました。

また、2008年に本県で開催した「第8回全国障害者スポーツ大会『チャレンジ！おおいた大会』」を契機に、これまでの身体・知的・精神といった障がい種別を問わず、スポーツの普及育成に努めています。

令和5年3月に策定した「大分県の学校部活動及び新たな地域クラブ活動のあり方等に関する方針」に基づき、令和7年度末までに休日部活動の地域移行を目指すこととしており、現在特別支援学校については17校中11校で部活動に取り組んでいます。

今後、特別支援学校部活動の地域移行・地域連携の観点を踏まえながら、特別支援学校の部活動に参加する生徒に限らず、近隣の特別支援学校・学級や公立校に通う障がい児、あるいは特別支援学校卒業生等幅広く地域に住む障がいのある方々が身近な地域でスポーツ活動ができる環境づくりを推進することで、運動習慣の獲得や社会参加の促進に繋がる取組として実施しました。

実施を通じ、参加者やスタッフの皆さんの笑顔が非常に印象的で、実施した特別支援学校生徒だけでなく近隣校の障がい児等とともにスポーツを楽しむ姿は、本事業の意義を強く感じました。引き続き、得られた課題を活かしながら、関係団体の皆さまのご協力をいただき、事業に取り組んでいきます。

令和6年3月

大分県・大分県障がい者スポーツ協会

目次

1 事業の概要	1
2 具体的な取組の詳細	3
参考資料：	
令和5年度地域スポーツ体験会実施要綱	15

本報告書は、スポーツ庁のスポーツ振興事業委託費による委託業務として、《受託者の名称》が実施した令和5年度「障害者スポーツ推進プロジェクト（特別支援学校等における運動部活動の地域連携・地域移行支援事業）」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

1 事業の概要

1 事業の目的

県内で3か所のモデル地域を設定し、特別支援学校と地域が連携するスポーツ活動の場づくりに係る試行の実施及び検証を通じて、当該校の部活動の地域移行や近隣校の障がいのある生徒等が身近な地域でスポーツできる場づくりを推進することを目的としています。

2 事業の概要

(1) 県内支援学校の実態把握・実行委員会の立上げ

実施日時：令和5年8月24日(木)13時30分～

実施場所：大分県総合社会福祉会館 大ホール

構成団体：・関係行政(県関係所属、市町村担当課)
・障がい者スポーツ団体
・総合型地域スポーツクラブ統括団体
・特別支援学校校長会
・専門職団体(理学療法士、作業療法士)
・医療機関(パラスポーツ外来)

(2) モデル特別支援学校と地域が連携する取組の実施

モデル特別支援学校：

- ・大分支援学校(陸上部)
- ・さくらの杜高等支援学校(運動部)
- ・南石垣支援学校(陸上部)

実施回数・参加者数：

(大分市) 全9回・のべ123名参加(うち平日3回、休日6回)

(別府市) 全3回・のべ54名参加(うち平日2回、休日1回)

(計) 全12回・のべ177名参加

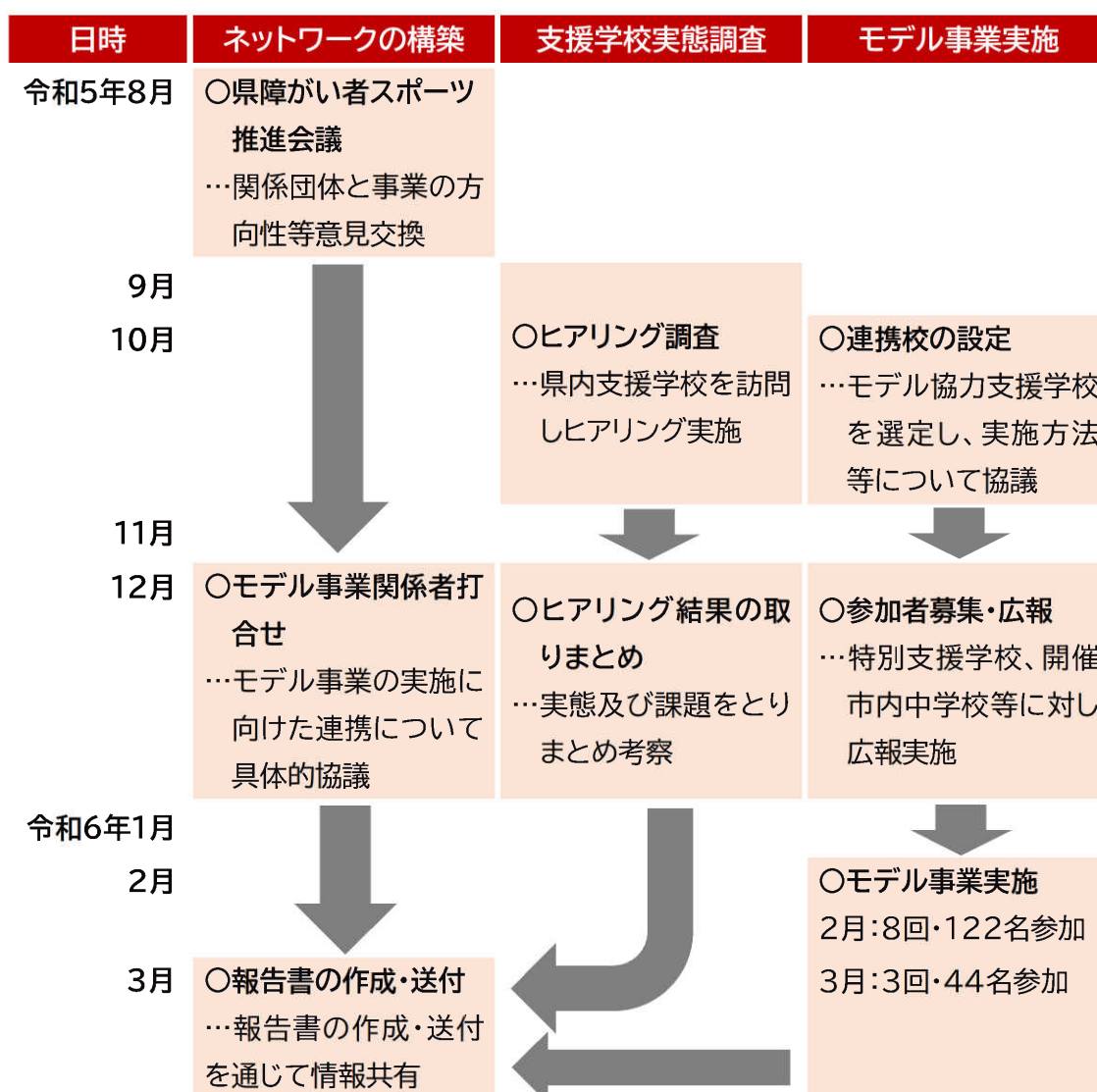
(3) 県内支援学校の実態把握

県内の特別支援学校に聞き取り調査を実施し、部活動の実態や課題について意見交換を実施しました。

主な実態：

- ・部活動を実施している学校は全11校
- ・実施頻度は週1回が多い
- ・部活動参加者の増加や本活動の実施検討時における一番の課題は「移動困難」

3 事業スケジュール



4 考察

主な成果：

- ・ モデルを通じて、各学校の部活動をベースに地域の指導者が協力する場づくりは可能
- ・ 競技の専門指導者と特別支援学校が連携することで、より高度なトレーニング提供も可能となり、競技力の向上も見込める
- ・ 休日モデルは、当該モデル校生徒のみならず、他校特別支援学級生徒等も参加があり、一定のニーズが確認できたとともに、その対応策としての有効性も確認

主な課題・方向性：

- ・ 当該校生徒も含め、アクセスに課題を抱える生徒(自力通学や家族等の送迎不可等)に対する有効な対応策が未だ見いだせていない(社会福祉法人等との連携も視野)

2 具体的な取組の詳細

1 大分県障がい者スポーツ推進会議(実行委員会)

県内市町村や競技団体、専門職団体等関係団体が一堂に会し、本事業に係る意見交換を行うとともに、障がい者スポーツに関する情報交換を行う場として以下のとおり開催しました。

(1) 出席団体

市町村担当課	大分市、別府市、中津市、佐伯市、臼杵市、竹田市、宇佐市、豊後大野市、由布市、日出町、九重町、玖珠町
福祉団体・学校	大分県盲人協会、大分県聴覚障害者協会、大分県精神保健福祉会、特別支援学校校長会
スポーツ団体	大分県パラスポーツ指導者協議会、SC おおいたネットワーク、大分身体障害者陸上競技協会、大分県知的障がい者陸上競技協会、大分県障害者卓球連盟、大分県障害者フライングディスク協会、太陽の家テニスクラブ Spash、SAVA SPORTS CLUB
専門職団体・医療機関	大分県理学療法士協会、大分県作業療法協会、明野中央病院リハビリテーション部
県行政関係課	大分県教育庁特別支援教育課、社会教育課、体育保健課
実施主体	大分県障害者社会参加推進室、大分県障害者スポーツ協会

(2) 実施日時

令和5年8月24日(木)13時30分から15時

(3) 会場

大分県総合社会福祉会館4甲斐大ホール



(4) 協議内容

- ・ 本事業の目的・実施方針について
- ・ 具体的な取組方法について
- ・ その他情報共有



2 個別協議の実施

具体的なモデルの実施及び検証に関し、個別協議や打合せを開催しました。

(1) 個別協議

各学校等を直接訪問し実施した個別協議回数(10回)

その他メール等にて各種情報共有や調整を実施(随時)

(2) 陸上競技地域移行モデル打合せ(モデル実行委員会)

ア 構成団体

特別支援学校	大分支援学校
	さくらの杜高等支援学校
	南石垣支援学校
競技団体・地域団体	大分陸上競技協会
	別府市陸上教室
事務局	大分県障害者社会参加推進室
	大分県障がい者スポーツ協会

イ 実施日時

令和5年12月18日(月)16時から17時

ウ 会場

大分市営陸上競技場(ジェイリースタジアム) 会議室

エ 協議内容

- ・ 陸上競技等地域移行モデル開催の具体的方策について
- ・ その他意見交換



3 特別支援学校と地域が連携するモデル体験会の開催

モデル協力支援学校における部活動をベースに、地域の競技団体等が連携する地域連携モデルを開催しました。

また、開催日については、参加対象者を当該支援学校部活動生徒に限定せず、近隣の特別支援学校や特別支援学級、中学校等幅広く呼びかけを行い、障がい当事者が身近な地域でスポーツに取り組める環境整備も推進しました。

(1) モデル実施学校・協力団体

特別支援学校	大分支援学校 さくらの杜高等支援学校 南石垣支援学校
競技団体・地域団体	大分陸上競技協会 別府市陸上教室 大分県 FID バスケットボール連盟 サッカーを通じて楽しい時間を過ごそう～知的障がい者のためのサッカー教室「サカたの」
事務局	大分県障害者社会参加推進室 大分県障がい者スポーツ協会

(2) 基本的な考え方

モデル開催に際し、基本的な考え方を以下のとおり設定しました。

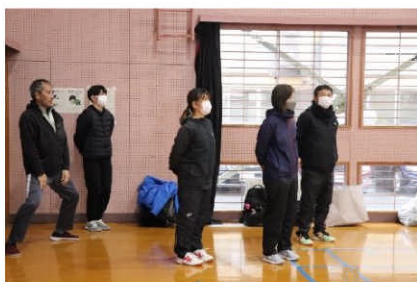
参加者について	・ 当該支援学校生徒以外は参加対象者を「中学生以上」かつ「家族等支援者の同行」が可能な方とした ・ 一方、年齢上限は設定せず、当該支援学校OBへの声かけも実施した
実施競技・指導者	・ 特別支援学校の既存部活動をベースに実施競技を設定 ・ 実施競技に即した競技団体や地域団体に対し、指導者の派遣等協力を依頼
実施主体・方法	・ 本モデル開催時は、事業実施主体(県、県障がい者スポーツ協会)が主催とし、参加者管理を含む運営全体を担当 ・ 各モデル校と協議し、平日開催と休日開催の2種類の方法で開催し、有用性や課題の確認を実施

(3) 具体的な実施詳細(実施日時順)

ア 大分支援学校陸上部モデル①

実施日時	令和6年2月5日(月)15時10分から16時10分
実施場所	大分支援学校 体育館(雨天)
実施内容	陸上競技
参加者数	11名 (内訳) 大分支援学校生徒 11名
指導協力	大分支援学校教員1名、大分陸上競技協会指導者3名

実施の様子



イ 南石垣支援学校陸上部モデル①

実施日時	令和6年2月10日(土)15時50分から16時45分
実施場所	野口原競技場
実施内容	陸上競技
参加者数	22名 (内訳) 南石垣支援学校生徒 13名 南石垣支援学校等OB 9名
指導協力	南石垣支援学校教員1名、大分陸上競技協会指導者1名

実施の様子



ウ さくらの杜高等支援学校運動部モデル①

実施日時	令和6年2月11日(日)10時から11時30分
実施場所	さくらの杜高等支援学校 体育館
実施内容	サッカー
参加者数	17名（内訳） さくらの杜高等支援学校生徒 10名 近隣特別支援学校生徒 6名 近隣公立中学校生徒 1名
指導協力	さくらの杜高等支援学校教員1名、サカたの指導者7名
実施の様子	



エ 南石垣支援学校陸上部モデル②

実施日時	令和6年2月19日(月)10時から11時30分
実施場所	野口原競技場
実施内容	陸上競技
参加者数	16名（内訳） 南石垣支援学校生徒 16名
指導協力	南石垣支援学校教員1名、大分陸上競技協会指導者3名
実施の様子	



オ 大分支援学校陸上部モデル②

実施日時	令和6年2月24日(土)10時から12時
実施場所	大分スポーツ公園サブグラウンド
実施内容	陸上競技
参加者数	11名（内訳）大分支援学校生徒 6名 近隣特別支援学校生徒 5名
指導協力	大分支援学校教員1名、大分陸上競技協会指導者3名

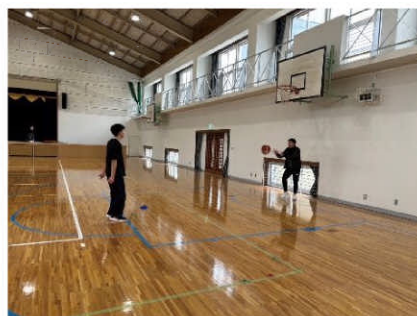
実施の様子



カ さくらの杜高等支援学校運動部モデル②

実施日時	令和6年2月25日(日)10時から12時
実施場所	さくらの杜高等支援学校 体育館
実施内容	バスケットボール
参加者数	8名（内訳）さくらの杜高等支援学校生徒 6名 近隣特別支援学校生徒 2名
指導協力	さくらの杜高等支援学校教員1名 FIDバスケットボール連盟指導者2名

実施の様子



キ 南石垣支援学校陸上部モデル③

実施日時	令和6年2月26日(月)15時50分から16時45分
実施場所	野口原競技場
実施内容	陸上競技
参加者数	16名（内訳）南石垣支援学校生徒 16名
指導協力	南石垣支援学校教員1名、大分陸上競技協会指導者3名
実施の様子	



ク さくらの杜高等支援学校運動部モデル③

実施日時	令和6年2月26日(月)16時から16時45分
実施場所	さくらの杜高等支援学校 体育館
実施内容	ボッチャ・ジャベリックスロー
参加者数	21名（内訳）大分支援学校生徒 19名 近隣特別支援学校生徒 2名
指導協力	大分県障がい者スポーツ協会3名
実施の様子	



ケ 大分支援学校陸上部モデル③

実施日時	令和6年3月9日(土)10時から12時
実施場所	大分スポーツ公園サブグラウンド
実施内容	陸上競技
参加者数	11名（内訳）大分支援学校生徒 7名 近隣特別支援学校生徒 3名 大分支援学校OB 1名
指導協力	大分支援学校教員1名、大分陸上競技協会指導者3名
実施の様子	



コ さくらの杜高等支援学校運動部モデル④

実施日時	令和6年3月16日(土)10時から12時
実施場所	さくらの杜高等支援学校 体育館
実施内容	バスケットボール
参加者数	5名（内訳）さくらの杜高等支援学校生徒 3名 近隣特別支援学校生徒 2名
指導協力	さくらの杜高等支援学校教員1名 大分県FIDバスケットボール連盟指導者2名
実施の様子	



サ さくらの杜高等支援学校運動部モデル⑤

実施日時	令和6年3月18日(月)16時から16時45分
実施場所	さくらの杜高等支援学校 グラウンド
実施内容	ジャベリックスロー
参加者数	12名（内訳）さくらの杜高等支援学校生徒 11名 近隣特別支援学校生徒 1名
指導協力	大分陸上競技協会指導者2名

実施の様子



シ さくらの杜高等支援学校運動部モデル⑥

実施日時	令和6年3月23日(土)10時から11時30分
実施場所	さくらの杜高等支援学校 グラウンド
実施内容	サッカー
参加者数	27名（内訳）さくらの杜高等支援学校生徒 5名 近隣特別支援学校生徒等 22名
指導協力	サカたの指導者20名

実施の様子



4 県内特別支援学校の実態把握(聞き取り)

県内の特別支援学校における部活動等スポーツ活動の実態把握や課題について、聞き取り調査及び意見交換を実施しました。

(1) 調査概要

調査対象：大分県内特別支援学校 17校

調査方法：対面による聞き取り調査

半構造化面接手法を参考に実施

(2) 主な調査結果

(部活動等スポーツ活動の実施状況)

- ・ 部活動を実施している学校は全11校
主な内容:陸上部、バドミントン部、フロアバレーボール部、運動部
- ・ 部活動の実施頻度は「週1回(10校)」が多く、1校のみ「週2～3回」
- ・ 指導者は各校教員

(課題・状況)

- ・ 部活動参加児童は「自力通学」あるいは「家族等の送迎」が可能な生徒に限定のため、スクールバス利用児童は参加できない
- ・ 中学校では部活動に所属しており、高等部から特別支援学校に入学した生徒等もいるなど、部活動を実施したいニーズを持つ生徒は一定数存在している
- ・ 週末の活動を行う場合、通学範囲が広域なため、当該校で部活動等スポーツ活動を開催しても参加しやすいとは限らない

(考察)

- ・ スポーツをしたいというニーズは少なくないがアクセスの課題があるため、休日活動の方が、参加者が一定数確保できる可能性が高い
- ・ 自校生徒のみに限定せず、地域のスポーツの場として各地で開催することで、近隣校での活動に参加するが可能

參考資料

令和５年度地域スポーツ体験会実施要綱
(特別支援学校と連携する地域が連携するスポーツの場づくりモデル)

１ 目的

特別支援学校と地域が連携するスポーツの場をモデル的に開催し、特別支援学校在校生のみならず、卒業生や近隣校に在籍する障がい児あるいは成人の障がい者等が身近な地域でスポーツに取り組むことができる環境づくりを推進することを目的とします。

２ 主催・協力団体

(１) 主 催 大分県、大分県障がい者スポーツ協会

(２) 協力団体 大分県立大分支援学校、大分県立南石垣支援学校、大分県立さくらの杜高等支援学校、一般財団法人大分陸上競技協会、別府陸上教室、大分県知的障がい者バスケットボール協会、「サッカーを通して楽しい時間を過ごそう」サカたの

３ 実施内容

実施日時	実施場所	実施競技
【大分市内／大分支援学校・さくらの杜高等支援学校関係】		
(１) 令和６年２月５日（月） １５時１０分～１６時１０分	大分支援学校 隣接グラウンド	陸上競技
(２) 令和６年２月１１日（日） １０時～１１時３０分	さくらの杜高等支援 学校体育館	サッカー
(３) 令和６年２月２４日（土） １０時～１２時	大分スポーツ公園 サブ競技場	陸上競技
(４) 令和６年２月２５日（日） １０時～１２時	さくらの杜高等支援 学校体育館	バスケットボール
(５) 令和６年２月２６日（月） １６時～１６時４５分	さくらの杜高等支援 学校体育館	ボッチャ 等
(６) 令和６年３月９日（土） １０時～１２時	大分スポーツ公園 サブ競技場	陸上競技
(７) 令和３月１６日（土） １０時～１２時	さくらの杜高等支援 学校体育館	バスケットボール
(８) 令和６年３月１８日（月） １６時～１６時４５分	さくらの杜高等支援 学校体育館	ボッチャ 等
(９) 令和６年３月２３日（土） １０時～１１時３０分	さくらの杜高等支援 学校グラウンド	サッカー

【別府市内／南石垣支援学校関係】			
(1)	令和6年2月10日(土) 16時～17時	野口原陸上競技場	陸上競技
(2)	令和6年2月19日(月) 15時50分～16時45分	野口原陸上競技場	陸上競技
(3)	令和6年2月26日(月) 15時50分～16時45分	野口原陸上競技場	陸上競技

4 参加者

(1) 参加条件

原則として、以下の条件を満たす障がいのある方を対象とします。

- ・ 平成22年(2010年)4月以前に生まれた方
- ・ 身体または知的及び精神いずれかの障がいを有する方または準じる方
(必ずしも各種障がい者手帳を所有していなくても問題ありません)
- ・ 実施会場に自力での参加が可能である方
- ・ 集団での行動が可能な方
- ・ 家族または関係者の付添いによる参加が可能な方

(2) 申込方法

参加申込みは以下に掲げるいずれかの方法で行ってください。

なお、参加申込み期限は各実施日の1週間前とします。

ア Webでの申込み

下記 URL から申込フォームを開き必要事項を入力してください。

<https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys-alias/chiiki-sports-oita2024>



イ 郵送又は FAXでの申込み

別に定める「地域スポーツ体験会参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、下記事務局までご提出ください。

大分県障がい者スポーツ協会(担当:阿部・島田)

住所:〒870-8501 大分県大分市大手町3丁目1番1号

電話:097-533-6006

FAX:097-506-1736

E-mail:info1961@oita-syotai-kyo.org

5 備考

- ・ 参加に際し、保険等は事務局で加入します。
- ・ 参加時は運動できる服装を着用のうえ、水分やシューズ(体育館の場合は体育館シューズ)等必要な物品を各自ご準備ください。
- ・ 4(1)に記載する参加条件等ご不明な点があれば、随時事務局までご連絡ください。

問合せ:大分県福祉保健部障害者社会参加推進室

地域生活支援・芸術文化スポーツ推進班

電話:097-506-2738